

京都市立養正小学校 学校ニュース 学校評価 令和3年10月28日

校長 佐藤 剛

TEL791-7184 FAX791-7185

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yousei-s/> E-mail:yousei-s@edu.city.kyoto.jp

学校教育目標 「子どもの良さを最大限に伸ばす養正教育の推進」

全校児童、保護者、教職員による学校評価のアンケートを行いました。その結果をお知らせします。今年度はネットを活用して回答を集めました。ご協力ありがとうございました。アンダーラインをひいているのは、昨年度の同時期と比べて、数値が高い箇所です。良くなっているところは、養正校の強みとして考え、課題は、今後の教育活動で改善していく所存です。

○第1回学校評価アンケート結果（9月）＊数値は％です。

A…よく出来ている B…大体出来ている C…あまり出来ていない D…出来ていない プラス…ABの合計 マイナス…CDの合計

		A	B	C	D	プラス	マイナス
①子どもたちは、授業中、すすんで意見を発表し、先生や友達の話をしっかり聞いている。	児童	35	57.9	6.3	0.8	92.9	7.1
	保護者	32.9	61.4	4.3	1.4	94.3	5.7
	教職員	6.7	80	13.3		86.7	13.3
②子どもたちは、授業中、ノートをしっかりと書いている。	児童	65.6	25.6	8	0.8	91.2	8.8
	保護者	38.6	51.4	10		90	10
	教職員	6.7	86.6	6.7		93.3	6.7
③子どもたちは、すすんで読書をしている。	児童	47.6	26.2	22.2	4	73.8	26.2
	保護者	24.3	40	28.6	7.1	64.3	35.7
	教職員	28.6	64.3	7.1		92.9	7.1
④子どもたちは、決めた家庭学習をしている。	児童	76.8	18.4	3.2	1.6	95.2	4.8
	保護者	31.4	54.3	12.9	1.4	85.7	14.3
	教職員	21.4	78.6			100	
⑤子どもたちは、相手の気持ちを考えて、優しくすることができている。	児童	46	40.5	12.7	0.8	86.5	13.5
	保護者	37.1	55.8	7.1		92.9	7.1
	教職員	6.3	93.8			100	
⑥子どもたちは、時や場に応じた言葉づかいをしている。	児童	38.9	51.6	8.7	0.8	90.5	9.5
	保護者	25.7	64.3	10		90	10
	教職員	12.5	62.5	25		75	25
⑦子どもたちは、家や学校でほめられている。	児童	45.2	39.7	14.3	0.8	84.9	15.1
	保護者	37.1	54.3	8.6		91.4	8.6
	教職員	13.3	86.7			100	

⑧子どもたちは、困ったことがあれば、家の人や先生に相談している。	児童	52	28	15.2	4.8	80	20
	保護者	31.4	65.7	2.9		97.1	2.9
	教職員	21.4	78.6			100	
⑨子どもたちは、楽しく学校に通っている。	児童	72.2	23	4.8		95.2	4.8
	保護者	68.6	27.1	2.9	1.4	95.7	4.3
	教職員	53.3	46.7			100	
⑩子どもたちは、学校のルールを守っている。	児童	50.9	43.5	4	1.6	94.4	5.6
	保護者	47.1	47.1	5.8		94.2	5.8
	教職員	20	80			100	
⑪子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。	児童	55.2	20	17.6	7.2	75.2	24.8
	保護者	11.4	40	40	8.6	51.4	48.6
	教職員	8.3	58.4	33.3		66.7	33.3
⑫子どもたちは、気持ちのよいあいさつをしている。	児童	82.3	13.7	3.2	0.8	96	4
	保護者	35.7	54.3	10		90	10
	教職員	31.3	56.2	12.5		87.5	12.5
⑬子どもたちは、すすんでスポーツや外遊びをしている。	児童	73	16.7	7.9	2.4	89.7	10.3
	保護者	35.6	32.9	28.6	2.9	68.5	31.5
	教職員	33.3	60	6.7		93.3	6.7
⑭子どもたちは、早寝早起き朝ごはんの生活習慣が身についている。	児童	45.2	39.7	12.7	2.4	84.9	15.1
	保護者	29	55.1	15.9		84.1	15.9
	教職員	14.3	71.4	14.3		85.7	14.3
⑮子どもたちは、歯磨きの習慣が身についている。	児童	40.5	41.2	14.3	4	81.7	18.3
	保護者	38.6	44.3	15.7	1.4	82.9	17.1
	教職員	21.4	64.3	14.3		85.7	14.3
⑯学校は、整理整頓され、学習環境が整っている。	保護者	52.9	41.4	4.3	1.4	94.3	5.7
	教職員	37.5	50	12.5		87.5	12.5
⑰学校は、学級通信などのお便りやホームページで学校の情報を伝えている。	保護者	64.3	32.9	2.9		97.2	2.9
	教職員	56.3	43.8			100	
⑱学校は、PTA・地域と連携した教育を進めている。	保護者	51.4	45.7	2.9		97.1	2.9
	教職員	62.5	37.5			100	

昨年度の課題より

昨年度の第一回目の本校の課題は、設問⑩と設問⑭を挙げました。設問⑩では、昨年度の同時期、児童のプラスは86.5％、保護者のプラスは45％、教職員のプラスは60％でした。保護者・教職員の評価が上がっている一方、児童の評価は下がっています。GIGA スクール構想が始まり、ますます児童が情報端末を扱う機会が増えています。扱う機会が増えたからこそ、正しい付き合い方ができるよう、前年度に引き続き、情報モラル授業を通して上手な使い方や危険性を確認していきたいと思います。また、GIGA 端末の持ち帰りも始まります。学校端末を使用した誹謗中傷で命を絶った、悲しいニュースも記憶に新しいところです。ご家庭でも約束の確認をお子さんとともにしていただきますよう、ご協力をお願いします。設問⑭では、児童のプラスが81.2％、保護者のプラスが73.1％、教職員のプラスが93.3％でした。児童・保護者の評価があがりました。今年度は、生活調べの時期を1学期にも設けることで、早期に子どもたちの実態を把握することができ、全体指導や個別での声かけ等で改善をはかる手立てをうつことができました。また、お家でも声をかけ続けて頂いたおかげでもあります。引き続き取り組んでいきます。

養正小学校の課題

今回のアンケートでは、④・⑫の設問に関して、児童・保護者・教職員ともに評価があがるという結果が出ました。特に⑫に関しては、よく出来ていると評価した児童が82.3％と他の設問と比べてもかなり高い数値が出ています。学校をあげて取り組んでいる「スーパーあいさつ」が子どもたちに意識付いている嬉しい結果となりました。一方で、⑦は保護者・教職員の評価は上がっていますが、児童の評価は下がっており、大人がほめているつもりでも、子どもたちに届いていない可能性が考えられます。また、⑮に関しては、三者とも評価が下がっています。コロナ禍での感染症対策として泣く泣く、緊急事態宣言下での学校での歯磨きを中止した影響も大きいと考えられます。そこで、今回の結果から設問⑦と⑮を重点課題とします。

設問⑦子どもたちは、家や学校でほめられている。に対する取組

・授業の中で子どもたちが活躍する場を積極的に設け、自己肯定感を高めることができるようにします。

・生活場面での会話や児童面談、キャリアパスポートの記述などを通して、子どもたち自身が気づいていない自身の良さを発見し、伝えていくよう努めます。

・子どもたちのよい行いを教職員間で共有し、ほめる機会をたくさんつくります。

設問⑮子どもたちは、歯磨きの習慣が身についている。に対する取組

・歯磨きタイムに歯磨きの音楽を鳴らすことにより、正しい歯磨きの仕方と歯磨きの習慣の定着をはかります。

・毎月8日を歯の日とし、歯磨きに関する取り組みをおこないます。

・定期的に歯磨き週間の取り組みをおこない、実態把握と声かけができるように努めます。

・生活調べ等の結果を発信し、ご家庭でも話ができるようにしていきます。

自由記述欄より(回答順)

○いつも細かく子供の様子を見て下さってありがとうございます。二学期を迎えましたが家庭内での日々のリズムが出来ていないと感じておりますが、学校は楽しく通えているようです。

学校でも生活調べを通して、実態把握に努めたり、声かけを行ったりしていきます。生活調べには担任・養護教諭・栄養教諭のコメントもありますので、ぜひお子さんと一緒にふり返りの時間をとっていただけたらと思います。

○手洗いが出来ていません。洗ったと言いますが、手を濡らすだけで終わっているようです。どうしたらその重要性を理解させられるのか、悩ましいです…

学校では、毎休み時間後に手洗いの音楽を流し、手洗いを促しています。また、昨年度は手洗いチェッカーを使って、丁寧に洗ったつもりでも、洗い残しがあることを学習しました。今年度も養護教諭や保健委員会を中心に様々な方法で根気強く伝え続けたいと思います。

○全体的には楽しく学校に通えているとおもいます。ただ、勉強の方は授業についていけないか、コロナ禍の影響で休まざるをえない状況の時もあり心配です。そのような生徒には補習があればありがたいとおもいます。

子どもたちの学びの保障するため、本校ではいち早くオンライン授業に対応しました。休校中はオンライン授業、登校したら必要に応じて個別に対応、と二段構えで子どもたちの学びの保障を続けていきたいと思います。

○コロナ禍のなか、様々工夫していただきながら、娘は楽しく小学校に通わせてもらっています。リモート授業も早くから対応いただけて非常によかったです。運動会ができるのかが心配ですが、人数も少ないですし、なんとか実施していただきたいです。

リモート対応への評価ありがとうございます。運動会は、無事に実施することができました。子どもたちの体調管理、感染対策の協力あってのことです。ありがとうございました。

○コロナのため学校に伺う機会が少なく、クラスの雰囲気などあまり分からないのが残念ですが、子どもの様子から毎日楽しく過ごしている事が伝わってきます。厳しい状況が続くなか、いつも温かく見守っていただき感謝しております。

今年度は緊急事態宣言の影響で4月の参観・10月の運動会と2回しか学校に来ていただく機会がありませんでしたが、今後、学習発表会や参観など順次実施予定です。ぜひご来校いただき子どもたちのがんばりをご覧ください。

○外国籍の子供が溶け込みやすく助かっています。しかし、我が子には郷に入っては郷に従えと日々、個性は活かしつつ押し付けず、自然に場に合わせた言動をとれるようにと声かけし教育しております。

学校では、人権学習に力を入れており、ちがいを認め合うことの大切さを伝えています。お互いの違いを認め合い、共に生きる姿を体現している子どもたちが誇らしいです。

○コロナ禍の中、特に行事等において、小規模校ならではの良さを感じます。感染予防に努めながらも、学校生活で経験できることを積み重ねてほしいと思います。タブレットが休校中に活かせて良かったと思います。

他校では全校規模での行事は人数的に難しく、学年ごとなどでの実施をしていると聞いています。本校では、小規模であることと、子どもたちの健やかな学びのために、運動会を全校で実施することを決断しました。ご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

○コロナ禍で難しい環境のなか、たくさんご配慮頂き感謝しています。

○コロナ禍においても、普段通りに努めて学校生活をおくらせていただきありがたく感じています。先生方の子供への温かい眼差しにいつも心から感謝の気持ちでいっぱいです。これからもどうぞよろしく願いします。

○いつも、子ども達ひとりひとりを温かく熱く見守って頂き感謝しております。

○コロナ禍の大変な中、学校の中で色々と対策して下さいありがとうございます。何事もなく無事学校に通えていることがありがたいです。今後もよろしく願いします。

○コロナ禍で大変な状況のなか、先生方や職員の皆様が子どもたちのために動いて下さっていることに大変感謝しています。

おかげさまで、子どもたちは様々な制限がある中でも楽しく学校に通えています。

たくさん温かいお言葉をいただきました。大変励みになります。ありがとうございます。子どもたちが学校に楽しく通うことができているのは、ご家庭のご協力があってこそです。こちらこそ、いつもご協力いただき本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いします。

学校運営協議会から

・くつをそろえたり、しっかりとあいさつをしたりなど、家庭や学校での教育が子どもたちを通して見える機会が増えてきた。

・6年間クラス替えのない学校だからこそ、どう人間関係をつくっていくのかがとても大事になってくる。よりきめ細やかな目配りが必要になってくるので、学校・保護者・地域が連携して子どもをみていくことが大切である。

・プールや運動会などの行事ができて良かった。少人数だからこそできることはあるのでその強みを生かしてほしい。

